「微量アルブミン尿検診の費用対効果の検討」
に対するご協力のお願い

研究責任者　　畔上達彦
研究機関名　慶應義塾大学医学部
（所属）　内科学教室　腎臓内分泌代謝内科

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では､同意取得が困難な対象となる健診受診者様へ向けて､情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、健診受診者への新たな負担は一切ありません。また健診受診者のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない健診受診者は、その旨を「８ お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

2017 年以降の日野市国保特定健診受診者

２　研究課題名

承認番号　　20241133
研究課題名　微量アルブミン尿検診の費用対効果の検討

３　研究組織

研究機関	研究責任者
慶應義塾大学医学部	専任講師　畔上 達彦

既存試料・情報の提供機関	機関の長
日野市	市長　大坪　冬彦

４　本研究の目的、方法

目的：尿アルブミン定量検査で一般的な検診項目では検出されない糖尿病性腎症第 2 期の患者のスクリーニングを行った費用の糖尿病性腎臓病の重症化予防効果に対する費用対効果の検証を行うことでより適切なスクリーニング方法を検討し、糖尿病性腎臓病の重症化予防につなげることを目指します。

方法：
日野市国保特定健診に付随して東京都日野市の独自事業費を用いて行った尿アルブミン定量検査の費用対効果を検証いたします。

５　協力をお願いする内容
対象となる方の日野市国保特定健診のデータを使用して解析を行います。

６　本研究の実施期間
研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

７　外部への試料・情報の提供
なし

８　お問い合わせ
本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。
また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学病院　腎臓内分泌代謝内科
戸田匡太郎
vcfmasa@gmail.com
03-5363-3796

以上